

コース名	コストを削減する在庫管理の進め方 在庫把握と適正な管理法を学び自社の余剰在庫削減に導く			
研修のねらい	製品・材料に関わらず、過剰な在庫は保管や廃棄等によりコストの根源となって、会社の経営に大きな悪影響を及ぼします。一方で、顧客との関係などから在庫削減が困難な場合も考えられます。そのような中、抱えている在庫を正確に把握し、適正に管理する土台をつくることで、在庫を必要以上に持たないようにすることが重要となります。 本研修では、在庫が会社全体に与える影響や在庫管理の基本を理解した上で、自社・自部門の適正な在庫管理の進め方を学びます。			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫管理のための手法について改善のポイントを理解して、実践できるようになります。 ・在庫データの分析の着眼点を理解したうえで、在庫分析を実践できるようになります。 ・在庫の適正化で一番の課題である在庫削減について、自社に合った取り組みを学びます。 <p>◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「No.48 製造原価で考える現場のコストダウン講座」2025年11月11日（火曜）～ 11月13日（木曜）〈3日間〉 ・「No.20 業績向上のためのデータ活用」2025年11月19日（水曜）～ 11月20日（木曜）〈2日間〉 			
研修期間	2026年1月28日（水曜）～1月29日（木曜）〈2日間〉			
対象者	管理者・新任管理者層 ・在庫管理の基本と実務を学びたい方 ・在庫削減等の明確な自社課題のある企業の方 ・在庫の管理・分析の仕方を身につけたい方	定員	30名	受講料 22,000円

日付	時間	科目	内容	講師
1/28 (水)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	9時40分～12時20分	在庫管理の基本	在庫が企業経営に与える影響を理解した上で、在庫が発生するメカニズムと在庫管理のポイントを学びます。 ・在庫が経営に及ぼす影響 ・在庫が発生するメカニズム ・在庫管理の考え方とポイント ・在庫のメリット、デメリット	小林 達哉 株式会社技術経営フロンティア 代表取締役
	13時20分～15時20分	在庫管理の方法と在庫の削減法	在庫削減と在庫管理に必要な手法を演習を交えて学びます。 ・在庫削減の方法 ・在庫状況の可視化 ・在庫の管理指標や発注方法 ・在庫管理状態の改善の進め方 ・他部門との情報共有	
	15時20分～17時40分	日常業務における在庫管理の方法 (在庫差異)	在庫管理を実践する上で必要となる手法を演習を交えて学びます。 ・業務フロー分析 ・入出庫作業の分析 ・在庫差異の発生要因分析 ・在庫差異の解消方法	
1/29 (木)	9時20分～12時20分	日常業務における在庫管理の方法 (実地棚卸)	在庫管理を実践する上で必要となる手法を演習を交えて学びます。 ・効果的で効率的な実地棚卸の方法 ・5S環境の整備 ・リードタイム短縮と在庫管理	
	13時20分～15時20分	事例で学ぶ在庫管理の定着化	在庫管理を実践・定着させるためのポイントを事例から学びます。 ・在庫管理の実践と定着化 ・在庫削減の事例 ・在庫コスト削減の事例 ・部署横断する在庫課題の解決	
	15時20分～17時20分	自社（自部門）での改善策の検討	これまで学んできたことを基に自社（自部門）の在庫管理に関する問題点を洗い出し、改善策を検討します。 ・自社の問題点洗い出し、改善策の検討 ・改善策を社内展開する際の課題、計画 ・検討結果のグループ内発表	
	17時20分～17時30分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
小林 達哉 (こばやし たつや) 株式会社技術経営フロンティア 代表取締役	製造業・物流業に勤務したのち、2015年に現場改善・生産性向上の経営コンサルタント会社を設立。中小企業・製造業を中心に現場改善、生産性向上、物流改革、在庫管理等の業務改革および人材育成の支援を行う。中京大学大学院ビジネスイノベーション研究科MBAコース修了。VES (Value Engineering Specialist)。